



ふるさと大野

令和8年3月23日

NO, 11

文責 宇田津

1月が行き、2月が逃げ、3月が去ろうとしています。来週はいよいよ卒業式、そして修了式があります。本当にあっという間の1年間でした。春に花を咲かせる木々のつぼみも膨らみを増し、桜舞い散る中、校長として初めて大野小を訪れたあの季節がもうすぐ巡ってくると感じます。大野小に関わるすべての方々の心のふるさと、拠り所になるようにと掲げた「ふるさと大野」のタイトル・・・、どれだけのことができたかはわかりませんが、自分自身のふるさとの1つとして大野小があり続けることは間違いのないと思います。保護者や地域の皆様には、この1年間、本校教育の推進のために様々な形でご協力いただきありがとうございました。今後とも大野小学校をよろしくお願ひします。

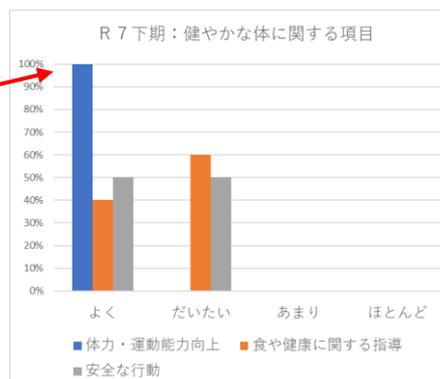
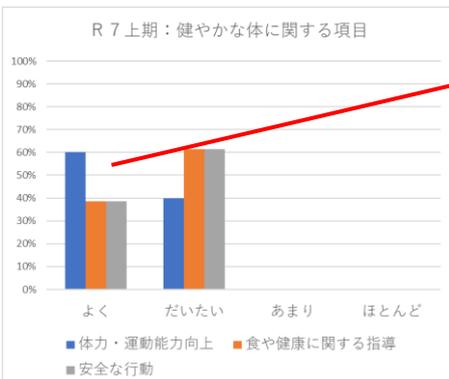
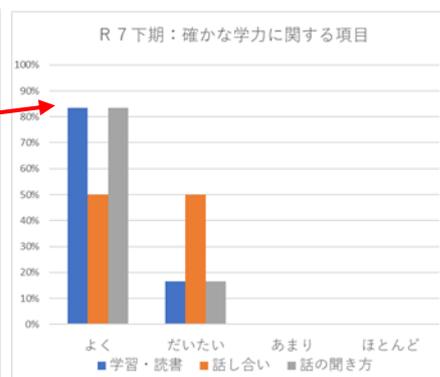
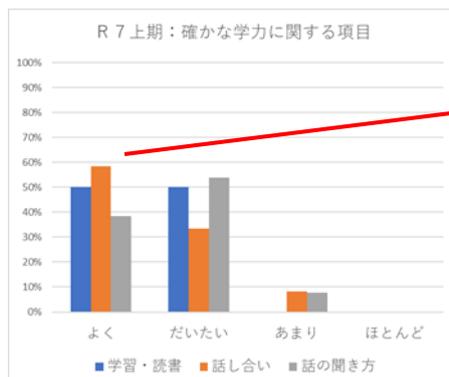
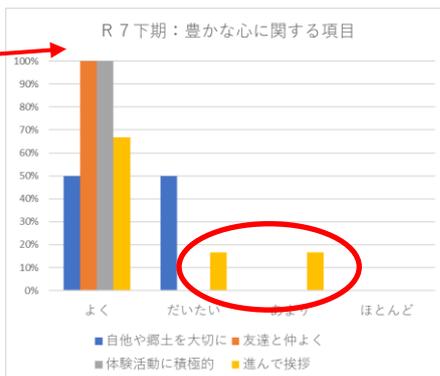
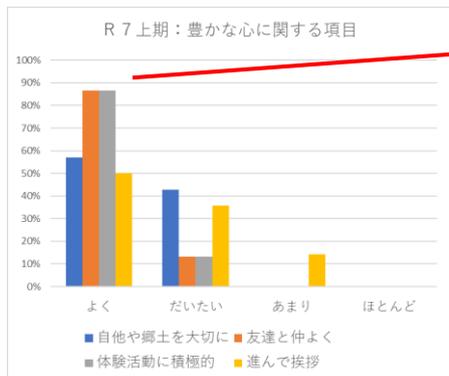
保護者アンケート結果から

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

学校教育目標のふるさとを愛し（豊かな心）、自ら学び、考え（確かな学力）、粘り強く行動する（健やかな体）ごとにまとめたところ、左のような結果になりました。左が上期、右が下期です。

全体的に向上傾向になりましたが、「進んで挨拶」や「手伝いや整理整頓」（グラフにはありません）に課題を残しました。

改善のための取組を具体的に進めていきたいと思っています。



心に残った!! お別れ遠足、6年生を送る会

3月6日(金)、天気予報と雨雲レーダーとにらめっこをし、実施を決めました。雨の予報でしたがギリギリのところまで活動できるのではという判断でした。くまモンポートに到着した時も雨雲レーダーの雨の中でしたが、奇跡的に雨は降らず、鬼ごっこやしっぽ取りで6年生とふれあいました。

当日は九州国際スリーデーマーチの1日目で、くまモンポートでも海外からの参加者と見られる方々がいらっしゃいました。驚かされたのは、そんな外国の方々に、自然に(当たり前のように)話しかけていく子供達の姿があったことです。自分の知っている言葉を使って、英語でのやり取りをしようとしているのです。今年度、外国語の研究発表を行いました。こんなところでも「身に付いている」という成果を感じることができました。

とうとう雨も降り出し、学校へ戻り6年生を送る会を体育館で行いました。各学級からクイズやジェスチャーゲームを出して楽しみました。サプライズで5年生以下によるダンスの披露や手作りのプレゼントもあり、6年生も終始笑顔でした。本当に兄弟姉妹のようなふれあいに心が温かくなりました。生涯続くつながり、「絆」となっていくことを願っています。



日々の安全運転、ありがとうございました。

本校のスクールバスの運転手、木村誠一さんと齋藤久喜さんが、運転手をおやめになります。子供達の安全のために運転に気を配られるとともに、子供達の成長を見守っていただきました。長きにわたり本当にありがとうございました。

追伸 卒業式に向けて、学校をあげて練習に取り組んできました。呼びかけの言葉の言い方、歌の練習、よい姿勢の保持等、これまで学級で日常的に行ってきた指導の集大成とも言えます。

ただ単にそのような形を追うだけでは、ロボットを育てているのと変わりません。形を整えるを通して、卒業生をしっかり見送る、お話しする方の思いを受け取る、立派に卒業するという魂が入り、全体として1つになっていく姿をうれしく思っています。送る側にとっても送られる側にとってもよい節目となる卒業式になりますことを心から願っています。

